



佐久地区社会教育委員連絡協議会 (2019/5/10)

5月10日に文化センターで佐久地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会が行われました。佐久地区の11市町村から50名以上の参加があり、研修会の実践発表の部では、地域連携コーディネーターの井出和夫さんによる川上村のコミュニティースクールを題材とした発表がありました。地域連携コーディネーターとしての活動を交えながら、川上村の中学校のコミュニティースクール活動を紹介されていました。

目次

- | | | | |
|-----|----------------|----|----------------------------------|
| 2-3 | 新1年生 | 9 | 駐在さん |
| 4 | 副館長退任・就任 | 10 | ニューフェイス |
| 5 | 各種団体名簿 | 11 | 鰻の眼
動物バトンリレー |
| 6-7 | 館報で振り返る
平成史 | 12 | 教育委員会だより
公民館の動き・戸籍の窓口
一喜一憂 |
| 8 | 大深山鯉のぼり | | |

平成から令和を翔ける 新一年生紹介

第一小学校



川上第一小 新入学名簿

林 大悟
 新海 叶多
 由井 姫希
 中嶋 徠琉
 井出 瑠美
 由井 陽登
 原 幸輝
 由井 龍
 油井 新菜
 日向 海星
 和久 知世
 新海 湊太
 神子澤 凜
 吉澤 心美
 新海 秀忠
 渡邊 敬大
 計16名

「だいすき！」

1学年担任 平林 歳江

16名の元気な1年生が入学して1か月が経ちました。入学式では、じつと前を見つめ、来賓の方の「おめでとうございます」にも口を真一文字に閉じている様子に、シャイな子どもたちなのかなと思っていました。歌はちゃんと歌えるのかなと心配にもなりました。しかし、歌が始まると、1音目から力強い歌声が響きました。私の目を見て一生懸命に歌っているのです。私は、うれしくてこの瞬間からこの子どもたちが「だいすき！」になりました。

シャイだと思っていたのは気のせい、入学式の次の日からいろいろな先生や上級生に声をかけて遊んでもらったり、自分から人と関わって学校生活を楽しんでいます。私も毎日おにごっこに誘われ、体力勝負で頑張っています。遊びだけでなく、お話ししっかりと聞ける力のある子どもたちです。

さて、今年の学年だよりには、「だいすき！」と名前をつけました。小学校生活をスタートさせたばかりの子どもたちは、これからたくさんの人や出来事に出会っていくと思います。あの瞬間私がこの子たちを好きだと思ったように、子どもたちにも「だいすき！」と思える物、事が増えたらいいなと願っています。

毎日がピッカピッカ。 元気いっぱいに飛び出せ!

第二小学校



川上第二小 新入学名簿

赤堀 日向子
 井出 秋穂
 伊藤 恩
 遠藤 梨結
 川上 景太
 川上 葉月
 川上 ひかり
 佐野 あのん
 佐野 悠志
 鷹野 桜崇
 高野尾 希央
 原 丞理
 原 雅暢

計13名

「すくすくのびる1年生!」

1学年担任 菊池 萌

出会った時から「本当に1年生!」と驚くぐらい、背筋をピンと伸ばして静かに話を聞くことができる川上第二小学校の13人の子どもたち。でも、それだけではなく、朝や休み時間には「体育館に行ってもいいですか?」「外に遊びに行ってきます!」と体を動かすことが大好きです。

さらに、何事においても吸収力が素晴らしい! 知識をぐんぐん自分のものにしていく力もたっぷりです。まだまだ秘めたる力を持っている13人の子どもたち。その力を思い切り発揮できるように努めていきたいと思えます。よろしく願います。



退任にあたり

前 公民館副館長 林 幸広 さん

浅学非才の私が当時の区長に頼まれ、半ばしぶしぶお受けしたのが2年前。その2年間もあつという間に過ぎてしまいました。「人と人のつながりを大切にしたい」という井出和夫前館長、小林康博前副館長のご指導のもと、副館長としての仕事が始まりました。

在任中は、村の内外を問わず、様々な方との出会いがありました。ゲートボール大会では、若い頃、様々な役職をこなしてきたであろうご老人より、「いろいろなあるけれど頑張つてな」と励ましの言葉をいただき、歩け歩きの集いでは、「毎年楽しみなんですよ」とうれしい言葉もいただきました。また、健康・福祉関係、教育関係、スポーツ推進委員などの各種会議に出席させていただき、様々な年代の様々な意見を聞くことができ、学ばせていただいたことは確かですが、「多様性と寛容性の両立」の難しさを痛感したことも事実です。

この2年間、一人で街へ出かけることが多くありました。商店街の方にお話を聞いてみたり、街で起きている問題を自分の目で確かめたり、村に還元できるものはないか、暇を見つけてはあちこちを訪ねてみました。その中でも、フェイスブックで仲良くさせていただいている音楽家の友人を、伊那、上田からお招きし、子育て中のお母さん方に楽しんでもらえたのは、私にとって大きな喜びでした。ご縁というものは不思議なもので、知人の発案により、今までにない、年齢、性別、出身地域を超えた新しいタイプのイベント「ロカヒ」も大盛況を収めることができました。

私が副館長として提案させていただいたことは、「ほんのきつかけ作り」に過ぎません。村民の皆様一人一人が性別、年代、地域の枠を超えて自発的に人とつながり、悩みや喜びを共有できるきつかけです。そういう意味においては、公民館の持つ役割は、昔も今も変わりません。一方、時代の流れとともに変化していくものもあります。先日、平成時代の公民館報を三十分閲覧させていただきました。手書きの原稿からコンピュータによる編集になり、モノクロからカラーになっても、心の豊かさに関する寄稿が変わらず掲載されているということは、変化に対する危機感の表れだと思えます。

「今までやってきたこと」はみんなを笑顔にしますか？

「みんながやっていること」はいつも正しいですか？

「人と違っていること」はいけないことですか？

そんな問いかけをしながら「村民として今後の生活に活かしていこうと思います。最後になります。2年間関わってくださったすべての皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。」



就任にあたり

新 公民館副館長
日向 小由紀 さん

今年度より公民館副館長に任命されました。よろしくお願ひします。

公民館の活動は、村民の誰もが気軽に参加できる、ふれあいと温もりのあるコミュニティだと思います。私自身も「生涯学習教室」や「歩け歩きの集い」、また、地区の役員として行事等に参加する機会があり有意義な時間を経験させていただきました。これは、役職員を始め、多くの皆様のご尽力なくしてはできないことと思います。また、関係団体の事業や多岐にわたる行事の多さや携わる方々のエネルギーに改めて責務の重さを痛感しております。

変化する時代とともに公民館活動も難しい時期であり、各地区での参加者集めに苦慮されているともお聞きしておりますが、公民館活動には自由な発想を受け入れてくれる寛大さと包容力があると思います。その中で、私にできることは何かを模索しながらの2年間になると思います。微力ではありますが、多くの皆様が楽しく参加できる公民館活動の少しでもお役に立てるよう努めさせていただきます。

最後になりますが、就任以来多くの皆様より励ましのお言葉をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。これからのご指導、ご協力をお願いいたします。

令和元年度公民館役員・公民館関係委員名簿

●川上村公民館 TEL 97-2000

館長	新海 貴
副館長	井出 紀幸
副館長	日向小由紀
主事	原 亮太
主事	井出 絢也
体育部長	渡邊 正太
広報部長	井出 紀幸
教養部長	井出 紀幸
衛生部長	日向小由紀
生活指導部長	由井 啓子

●スポーツ推進委員

委員長	原 光輝
副委員長	山中 篤
委員	新海 厚
"	高見澤 雅彦
"	小原 利文
"	中島 貴志
"	渡邊 紀久
"	吉澤 郷志



●大深山分館 TEL 97-3851

分館長	油井 拓也
副分館長	篠原 勇樹
主事	篠原 勇樹
体育部長	原 竹正
広報部長	日向 孝幸
教養部長	中嶋 定利
衛生部長	日向 孝幸
生活指導部長	中嶋 定利

●御所平分館 TEL 97-2528

分館長	井出 朗
副分館長	由井 宏
主事	今枝 大介
体育部長	由井 祥平
広報部長	由井 伸一郎
教養部長	中嶋 さや子
衛生部長	由井 裕雄
生活指導部長	由井 利枝

●川端下分館 TEL 99-2244

分館長	上田 修一郎
主事	林 康成
体育部長	遠藤 博和
広報部長	佐原 遼
教養部長	遠藤 正則
衛生部長	今井 孝行
生活指導部長	宮本 恵麻

●秋山分館 TEL 99-2409

分館長	林 義光
副分館長	林 一幸
主事	林 一幸
体育部長	井出 栄次郎
広報部長	井出 弘規
教養部長	林 保久
衛生部長	林 崇将

●梓山分館 TEL 99-2156

分館長	高見澤 美雄
主事	中嶋 豊
体育部長	井上 靖彦
広報部長	井上 俊一
教養部長	鷹野 智里
衛生部長	関 保幸

●居倉分館 TEL 99-2421

分館長	原 淳一
主事	伊藤 貴
体育部長	小原 強
広報部長	伊藤 利道
教養部長	原 克人
衛生部長	原 光輝

●原分館 TEL 97-2423

館長	渡邊 茂利
副館長	中島 美利
主事	岩水 達也
体育部長	由井 哲也
広報部長	井出 翔
教養部長	林 文典
衛生部長	木田 一茂
生活指導部長	由井 真理子

●樋沢分館 TEL 97-3409

分館長	林 公上
副分館長	高橋 敏
主事	高橋 敏
体育部長	吉澤 哲
広報部長	油井 智彦
教養部長	今井 良一
衛生部長	油井 康永
生活指導部長	吉澤 基

令和元年度各種団体役員名簿

●連合婦人会

会長	由井 啓子
副会長	高橋 敬子
川端下	林 由美子
梓山	高橋 敬子
秋山	井出 之
居倉	伊藤 ゆり
大深山	油井 真由美
原	木田 真弓
御所平	由井 啓子
樋沢	今井 静子

●婦人会

川端下	宮本 恵麻
梓山	川上 笑保
秋山	林 康枝
居倉	伊藤 初枝
大深山	篠原 優子
原	由井 真理子
御所平	由井 民代
樋沢	高橋 弘美



●若妻会

会長	吉澤 由希
副会長	原 寿子
川端下	一
梓山	鷹野 忍
秋山	川上 篤子
居倉	古原 直子
大深山	井澤 うらら
原	渡邊 しおり
御所平	新井 明菜
樋沢	吉澤 有希子

●青年団

団長	渡邊 正太
副団長	山中 啓敬
副団長	高橋 滝一
川端下	佐原 遼
梓山	小林 達樹
秋山	林 祐二
居倉	林 勇斗
大深山	油井 将
原	井出 翔
御所平	由井 壮
樋沢	油井 旭光

●老人クラブ

会長	由井 亮二
副会長	新海 徳雄
副会長	油井 太水
川端下	休会
梓山	関 登
秋山	休会
居倉	会長 不在
大深山	由井 亮二
原	新海 善一
御所平	新海 徳雄
樋沢	油井 太水

●行政連絡員

川端下	井出 和夫
梓山	高橋 石也
秋山	林 建一
居倉	伊藤 長美
大深山	藤原 克朗
原	井出 俊司郎
御所平	由井 健一
樋沢	吉澤 喜雄



●交通安全協会

会長	原 進吾
副会長	田口 協一
副会長	林 康成
副会長	油井 政義
川端下	今井 泉
梓山	川上 真人
秋山	山中 拓二
居倉	遠藤 修一
大深山	中嶋 昌哉
原	井出 滋久治
御所平	由井 善道
樋沢	林 幸広

●消防団

団長	井出 武志
副団長	吉澤 節夫
副団長	小林 公治
ラッパ長	林 義浩
川端下	佐原 直彦
梓山	佐野 重徳
秋山	林 貢雄
居倉	赤堀 博之
大深山	小池 勝哉
原	渡邊 良昭
御所平	由井 秀昌
樋沢	吉澤 俊充

公民館報 から振り返る 平成史

5月1日、元号が平成から令和へと改元されました。そこで公民館報を通して、村内の出来事や公民館事業などを中心に平成の31年間を振り返ってみました。また、館報の遍歴も追ってみました。

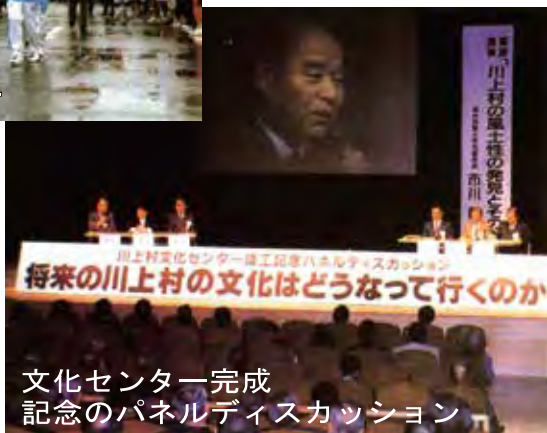
元年	1月	236	白黒タブロイド判にて発行 村制施行100周年 大深山遺跡マレットゴルフ場完成
2年	1月	242	ふるさと村塾開催 新成人座談会 川上村健康ふれあいまつり
3年	3月	250 251	生活改善 一部カラー印刷 第1回春季マレットゴルフ大会 金峰山小屋新装 二小プール屋根設置
4年	10月 3月	252 255	第1回そうざら祭り さわやかスポーツ大会 スマイルスポーツ大会
5年	5月 7月 9月	259 262	フルカラーで発行 原 藤塚四季の丘公園 樋沢 大理石彫刻設置 ワトソンビル訪問 川上村の野の花 スタート レタス君第31回 カラー
6年	1月 3月	264 266	新成人座談会 素顔スタート ゴミ問題 居倉公民館完成 環境問題
7年	11月	274	文化センター完成
9年	1月	282	森は私たちの守り神 全6回
10年	1月 12月	288 293	冬季長野オリンピック 聖火リレー ヘルシーパークオープン 第1回図書館まつり 大地からのメッセージ スタート
13年	1月	306	鰻の眼スタート タブロイド判からA4フルカラーへ
14年	1月 3月 5月 10月	312 313 314 316	1/4中嶋敬春選手激励会 (2002年ソルトレイク冬季オリンピック代表) 2/2出場応援会 館報かわかみのタイトルが現行デザインへ 子ども公民館教室 開始 陶芸窯設置
15年	3月 12月	319 323	図書館コタツ登場 図書館2F学室オープン
16年	1月	324	川上食堂スタート (全11回)
18年	1月	336	中嶋敬春選手激励会 (2006年トリノ冬季オリンピック1500・1000m代表)

館報編集委員会発足

昭和63年5月に編集委員会が組織され、公民館長が編集していた館報が編集委員に任されるようになりました。初期メンバーは5人で、徐々に仲間を増やしたそうです。村民自ら作ることによってゴミ問題や生活改善など、身近な問題を取り上げ、より住民目線の紙面になりました。当時は座談会を開いたり投稿が寄せられ、村民の意見が多く掲載されました。



長野五輪 聖火リレー



文化センター完成
記念のパネルディスカッション

館報の大変革

平成13年1月、タブロイド判だった館報がA4サイズに変更となりました。これに伴い、今まで手書きで割付していた編集作業を、パソコンで行いデジタル化しました。取材から編集、紙面デザインまでのすべてを手掛ける類を見ない館報の誕生でした。



中嶋敬春選手 2度の五輪出場

館報かわかみ タイトルの変遷

時代とともに変化してきたタイトルロゴ。歴代編集委員の熱い誇りが詰まっています。



昭和43年3月 100号～



平成4年6月 256号～



平成7年1月 270号～



平成14年5月 314号～

19年	12月	347	みやま保育園閉所 (H1～19年) 新潟中越地震チャリティーコンサート
20年	2月	348	文化センターにパイプオルガン (2007/11/4)
21年	3月	355	中学校新校舎完成 (2009/2) おらちの川上犬 終了 動物ペトリレー スタート
	4月	356	放課後児童クラブ 一小 (H20年) 二小 (H21年)
	11月	359	居倉消防分団 新詰所
22年	12月	365	第29回公民館まつり (地震被害地支援発表会として開催) 第2回里帰り文化祭
23年	3月	367	二小堤防沿 カラマツ並木伐採 (7/29) アイスクライミング、アイスツリー3周年
	12月	372	二小 木育開始
24年	2月	377	グラウンド改修後初の村民運動会 レタ助初参加
	12月	383	木育 一小小二小合同
25年	11月	382	記録的大雪 (2/14～15) 山中大地選手 ソチオリンピック応援観戦 レタ助フレンドパーク開園 (5/17) ニューフェイス スタート
26年	2月	384	日本宇宙少年団 川上分団結成 6/22 油井亀美也宇宙飛行士 出発一年前イベント
	5月	386	油井亀美也宇宙飛行士 出発壮行会 7/23 ソユーズ打上中継イベント 9/29 リアルタイム交信イベント 10/23 可視光通信イベント
26年	7月	387	油井亀美也宇宙飛行士 ミッション報告会
27年	2月	390	グラウンド芝生化により運動会休止
	11月	394	スポーツ推進委員会 静岡視察
27年	3月	397	芝生グラウンド初の村民運動会 (第52回)
	5月	398	新婚さん交流会 (2年目) (第1回はH26年) かわかみ保育園開園 カワカミガールズコレクション開催 マルシェかわかみ (H26/8/8オープン)
	7月	399	信州型コミュニティスクール発足
28年	3月	403	今井勢弥君 全中スキーアルペン競技スラローム優勝
	12月	407	川上中学校50周年記念式典 (11/1)
29年	3月	409	イノベーションアイデアコンテスト (第1回はH26年)
	7月	411	Lokahi コラボイベント告知
	12月	413	Lokahi コラボイベント開催
30年	2月	414	学校あり方検討委員会

みやま保育園 閉所



山中大地選手 五輪出場



問題提起から人へ

行政の大きな動きや、身近なルールの変更について考えた平成初期。その波が落ち着くと、多方面で活躍する個人が多くなり、多才な皆さんにスポットを当てた記事を掲載するようになりました。



油井亀美也宇宙飛行士 宇宙へ



初めての芝生の運動会



今井勢弥君 全中優勝

平成から令和の空へ!

子どもたちの 健やかなる成長を祈り

およげ! 鯉のぼり。



取付作業の流れ



① 鯉のぼりの状態確認&選定。



② ロープに鯉口金具を縛る。



③ 鯉をワイヤーフックへ固定。



④ 順番に鯉を送り作業完了。

4月下旬に入り、鯉のぼりをあげる家庭が目立つようになってきました。さて、皆さんは鯉のぼりをあげる理由をご存知でしょうか。主な理由としては、子どもが健康に育ち、将来大きく出世してほしいとの気持ち、を表現したものです。鯉は、生命力が強く、清流だけでなく、池でも沼でも生きられます。このことから鯉のぼりは環境の良し悪しに関わらず、立派に成長し、立身出世するように願って飾られるようになったとも言われています。

4月20日、大深山地区で公民館役員による鯉のぼりの飾りが行われました。

大深山の鯉のぼりの歴史は古く、昭和の終わりから現在まで約30年続けられています。子どもが大きくなり、鯉のぼりの処分に困ったのがきっかけで始まりました。作

大深山鯉のぼりご紹介

業は、鯉のぼりの選別から飾りまで半日掛かり。鯉と鯉の間隔を3メートルに保ち、新しく、色鮮やかな物を道沿いに設置するなど役員同士で話し合いながら、工夫を凝らしていました。寄付してくださった鯉のぼりを上げることで昔の良い思い出を振り返るキッカケになればと話しておられました。

ご家庭に眠っている鯉のぼりがあれば、大深山公民館に寄付してみたいかがでしょうか。

豆知識

吹き流しって?

起源は中国の五行説から由来。万物は、「木・火・土・金・水」の5種の元素からなるという思想です。それぞれに木・緑・火・赤・土・黄・金・白・水・紫の5色が吹き流しに使われており、主に魔除けの意味で用いられています。

皆様初めまして。
今年度から川上村駐在所
に赴任した雨宮隆です。
川上村駐在所に来る前は、
駒ヶ根警察署宮田村駐在所
に勤務していました。警察
官を拝命して以来、南信で
の勤務がなく、この度初
めて東信での勤務になりま
した。
出身は同じ東信の上田市
です。
趣味は、小学1年生から
唯一続けている剣道（とて
も下手ですが……）と、
サッカー等のスポーツ観戦
で、特に松本山雅の試合を
観戦しています。



ようこそ！雨宮巡查

～ 駐在さんが代わりました ～



川上村の感想

赴任してすぐに中学校、
小学校、保育園の卒業式、
入学式等に参加させていた
だきましたが、一つ前に勤
務していた宮田村と同様に、
村を挙げて子どもを村の宝
として大切にしているとこ
ろがとても素晴らしいと感
じ、多くの方が子どもに心
を寄せておられることがよ
く分かりました。
また、今までに勤務した
どの土地よりも畑が大き
くて多くあり、また、普通
では見たこともない大きさ

川上村の皆様へ

のトラクターがたくさんあ
ると話には聞いていたしま
が、ただただビックリして
います。（事故にはお気を
付けください。）
川上村の安全・安心のた
めに皆様のお力をお借りし
ながら、警察活動を実施し
ていきます。
川上村駐在所は私と上司
の2名で対応させていただ
いておりますが、一日も早く川
上村駐在所のマスコットとな
れるように頑張ります。

駐在所から皆さんにお願いします

交通マナーを守って事故に
遭わない、事故を起こさない！



自転車の交通マナー

- ① 車道は左側を通行しましょう
- ② 二人乗り・並進の禁止
- ③ 暗くなったらライトを点灯
- ④ 子どもはヘルメットを着用

安全確認と予防対策で農機
による事故を防ぎましょう！



事故防止の対策

- ① 確実な運転操作とブレーキ連結
- ② 安全キャブ・フレーム装着
シートベルト着用
- ③ 低速車マークや反射板の取り付け

事故や犯罪に巻き込まれ
ないように気をつけ、秋ま
で頑張りましょう！

実習生の皆さんへ

- ① 旅券または外国人登録証明書の管理徹底、携帯義務
- ② 日本の法律を守りましょう（犯罪防止、交通事故防止）
- ③ 犯罪に巻き込まれない（不法滞在の外国人と繋がらない）



川上村のニューフェイス

まぶしい笑顔に、かわいさ溢れるニューフェイス。
個性的なお名前に、お父さんお母さんの愛情も溢れています。



パパと遊ぶの大好き!

輝きに充ち溢れた人生を歩んでいってほしい、と願いを込めました。たくさんの人を笑顔にする元気で優しい人になってほしいです。



みつき

池田 充輝くん
1月8日生まれ

御所平

壮太・瑠美
(第一子)

ニコニコ、おしゃべり
大好き。

明るい未来、実りある豊かな人生にと願い名付けました。幸せだと思える人生を送れますように。大切を守り育てていくからね。



らいと

井出 来杜くん
1月7日生まれ

原

達也・那菜緒
(第一子)

NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE

たくさんおしゃべりして
たくさん笑います。

川上の美しい里に、長い間願った第一子の誕生に家族みんな喜びに満ちています!



みりか

伊藤 美里叶ちゃん
1月21日生まれ

居倉

哲男・小百合
(第一子)

こんなに真剣なのはテレビ
を見ているからだよ。

井出家待望の第一子です☆
パパとママの希望通り女の子で毎日デレデレ、我が家の癒しになっています。ママに似て三度の飯よりお喋りが好き! 朝早くから「あーあー」おしゃべりしてパパを起こし、困らせています。苦手なうつ伏せを毎日練習中!



おうひ

井出 凰陽ちゃん
1月12日生まれ

原

翔・純代
(第一子)

NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE

最近良く笑います!

心も体も大きく、目標に向かって向上心を持ち、努力を続けていける人になるようお願いを込め名付けました。みんなに可愛がられ、すくすく育っています!



ひろと

田口 大登くん
2月18日生まれ

居倉

雄大・佳奈美
(第二子)

にいと遊ぶの楽しみ
なのです♪

昴は星の集団ですが、たくさんの物を結んでひとつにまとめるという意味があります。みんなと仲良くいつまでも輝き続けてください。



こうき

由井 昴生くん
2月12日生まれ

御所平

相良・恵美
(第二子)

川上村教育委員会教育主幹

若月 彰一さん

この3月に、小諸市立野岸小学校を最後に定年退職し、4月から川上村教育委員会にお世話になっております。

4年前には、川上第一小学校の校長として在職しておりましたが、その間、川上村の皆様には学校を温かく支えていただき、子どもたちのびのびと力を伸ばすことができたこと、改めて感謝申し上げます。

川上村在職3年目には、県教委から他市町村への異動を打診されましたが、その時、「定年まで川上村においてください」と切願した覚えがあります。私事になってしまいましたが、川上村に赴任する前は、児童数1000人ほどの大規模校を転々としていたので、少人数の子どもたちとじっくりと向き合える学校、そして、学校の傍らに清流が流れる学校は、私の憧れでした。また、川上村にご縁を感じていたことの一つとして、私が小学生の頃、私の父が市町村関係の仕事を担当していたことから、当時の村長さんから川上犬をお譲りいただき、若藤号と命名して、幼少期を共に過ごした経験がありました。フジは、とても気性が激しく、じゃれ合った甘噛みでも、私の腕が青くなるほどでしたが、それでも、毎日、フジと家の周りを駆け回ったことも川上村とつながる思い出の一つでした。しかしながら、願い叶わず転任となってしまいました。こうして、再び川上村の地を踏めたことはうれしい気持ちでいっぱいです。

川上第一小学校で、強く心に残っているのは、運動会最後の種目、川上小唄の全校ダンスを復活したことで

す。私が赴任した年には、すでに川上小唄は運動会から姿を消していました。どの地域でも、川上小唄のように人々の心をつなぐものを運動会に取り入れることが多いのですが、その時は、非常に残念に思い、一念発起するしかないという思いで復活に挑みました。学校が、種目からカットしたのは、それなりの理由があり、一度なくしたものを復活するためには労力を要しました。先生方には、地域連携の大切さを理解していただき、どうせやるなら、保護者の皆さん、地域の皆さんも巻き込んだメインの種目にしたいと思いました。そのため、子どもたちにも、全員がプロのようにしっかりと川上小唄の踊り手となるように指導させていただきました。こうして、PTAの皆さん、ご来賓の皆さんには、半ば強引に川上小唄全校ダンスへの参加を呼びかけ、運動会当日を迎えました。当時は、児童数1000人ほどでしたので、川上第一小学校の広い校庭にできる輪も見栄えるものではありませんでした。ダンスに参加してくださった多くの皆さんのおかげで、とても華やかな種目になったことを思い出します。

川上村教育委員会は、4月1日より川上村文化センターに移転いたしました。引っ越しのさ中、荷物の中から川上小唄のEP盤レコードが出てきました。一世を風靡したレコードも、今では希少になってしまったということ。EP盤レコードはもう手に入りませんが、物ではなく、その地に住む子どもたちの心に川上村への思いが育つてほしいと願っています。今後とも、お世話になります。よろしくお願いいたします。

動物バトンリレー

山中袈裟克さん 宅 (秋山)

■ プリン 1歳

犬種・トイプードルとチワワのミックス

飼っていた猫がいなくなって1年が過ぎた頃、プリンとの出会いが訪れました。犬の躰は大変だと覚悟はしていたものの、想像以上に根気が必要でした。それでも日に日に人間の言葉を覚えていき、今ではいろいろなことが分かってきたかな……という感じです。

プリンの1日は小学生の息子を朝起こすことから始まります。あまりのテンションの高さに付いていけないこともしばしばありますが、息子のかわいい妹としてずっと一緒にいてほしい存在です。



教育委員会 だより

柔道教室・剣道教室 開級式

柔道教室と剣道教室の開級式が行われました。今年度は柔道教室、剣道教室ともに9人の申し込みがありました。柔道教室は毎週金曜日19時から、剣道教室は毎週木曜日19時半から柔剣道場で練習をしています。興味のある方は川上村教育委員会まで問い合わせください。

(TEL) 0267-97-2600



教育委員会 学校教育係 事務所の移転

教育委員会学校教育係事務所が中央公民館から文化センターへ移転しました。

なお、中央公民館施設の利用申し込みは、中央公民館と文化センターの両方の事務所で受付が可能です。また、生活改善はがきは、文化センターのみの販売となります。

公民館の動き

- 4月1日 副館長任命式
- 4月5日 南佐久郡公民館運営協議会総会
- 4月10日 総合役員会
- 4月11日 公民館報編集委員会
- 4月20日 第1回子ども公民館教室
- 4月25日 家庭教育学級運営委員会

戸籍の窓口

三月一日～四月三十日受付
お誕生おめでとうございます

小林 莉心	遥
高見澤 凜士	清美
原 すみれ	賢弥
井出 葵	沙友里
山中 ももか	亮太
渡邊 楓	寿子
	匠
	奈生子
	貴博
	ひとみ
	光洋
	あゆみ

結婚おめでとうございます
末永くお幸せに

油井 賢人	大深山
武田 真朋	山梨県

【お詫びと訂正】
前号、戸籍の窓口の出生で名前の誤りがありました。正しくは由井昂生くんです。訂正とともに、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

お悔やみ申し上げます

田村 安江	居倉 九一歳
横森 昭雄	原 九〇歳
林 をりい	秋山 九二歳
篠原みよ子	大深山 六九歳
加藤きみ子	秋山 一〇〇歳
中島いせ子	御所平 九〇歳
中嶋 達也	御所平 五七歳
伊藤しげじ	居倉 九四歳
林 美明	秋山 九五歳
市川清太郎	原 九二歳
古屋みきよ	御所平 九九歳



※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

一喜一憂

川上村の選挙は「まけ」の選挙。誰もが知る、当然の言葉。

今回、私の地区のまけからは候補者を擁立することができなかった。議論を重ねた末、まけを超えた地区全体としての代表を擁立する動きにもなったが、残念ながら実現できなかった。しかし話し合いの中で、今までなかった大きな動きがあった。

選挙を勝ち抜くための地盤として、まけの力は必須である。選挙事務所にお手伝いに行き「用事があったら呼ぶから」と待機。用事がなくてもそこにいることが義務。投票日まで毎日繰り返される風景。これは団結力を維持するための「囲い込み」なのでは？若い世代の多くが疑問を抱くのがこの慣習である。

世代間による見解の相違が露呈した結果、今後の選挙では皆が納得する新体制で臨むことと結論づいた。今まで当たり前行われてきた習慣も、改革が必要ない。親戚の人数ではなく、マニフェストで挑む選挙であってほしい。

令和最初の選挙は、新しい風が吹くことを期待したいですね。

【村勢】

総面積	209.61km ²	総人口	3,796人
		男	1,937人
世帯数	1,212戸	女	1,859人

(4月30日現在)